

あすギネス挑戦 八尾河内音頭



9日にギネス記録に挑戦する八尾河内音頭まつりをPRするまつり振興会のメンバーら一同市

最多人数での盆踊り

八尾市で長年続く名物行事「八尾河内音頭まつり」が9日、ギネス記録に挑む。目指すのは「世界最多人数での盆踊り」だ。7月に宮崎県延岡市の「ばんば踊り」が2748人と記録更新したばかりだが、八尾河内音頭は今回が40回目、来年は市制70周年と「節目」もめじろ押しで、主催者は「いま達成せずつ達成するのか。市民一丸で達成したい」と意気込む。

(桑村朋)

「サンキュー」と「40回目」で3940人目標

市や八尾商工会議所などでつくる「八尾河内音頭まつり振興会」のメンバー

が、大阪・ミナミの道頓堀商店会が2年前に同様のギネス記録に挑戦し、記録を達成して喜ぶ様子を見て「地元・八尾でも大きな挑戦を」と発案した。

ギネス記録は9日午後6時、市内の久宝寺緑地陸上競技場で挑戦。規定ではギネスの公式認定員に加え、参加者50人につき審査員1人を置くことが決まってお

り、審査員は陸上自衛隊八尾駐屯地の陸自隊員に依頼するという。記録認定には、「参加者全員が5分間同じ踊りを披露すること」が条件。河内音頭には踊りの形式が複数あるが、振興会は昨年、最も基本の踊り方を「正調踊り」と定め、今回の本番で採用することを決めた。簡単な手踊りを約10秒間繰り返すという誰でもできる盆踊りで、1月から市内各地で練習を重ねてきた。

認定には「民族衣装の着用」も必要。浴衣の着用を全員に義務づけた。持っていない参加者には貸し出すという。当日の飛び入り参加も可能で、当日午後3時半まで受け付ける。ただ、参加者の5%以上が踊りを間違えたら記録は認められないとの規定があり、当日は飛び入り参加者のために直前練習も行い、記録達成へ万全の準備をする。

7月22日には宮崎県延岡市の「第41回まつりのべおか」で、名物の「ばんば踊り」の参加者が2748人となり、これまで最高記録だった東京・八王子まつりの2130人を大幅に超えてギネス記録を更新。しかし、河内音頭側は「サンキュー」と「40回目」を合わせた「3940人」が目標で、「ライバル」の記録な

どもものともしない。実行委員長の松村康隆さんは「河内音頭を全国に発信し、市民の一体感も強くする良い機会。八尾の活性化につながる」と期待している。

八尾河内音頭 室町時代に常光寺（八尾市本町）で伽藍（がらん）を再建する際、京から舟で木材を運ぶ人々が口にしたかけ声が起源といわれており、地藏盆踊りとして定着している。平成8年には環境庁の「残したい日本の音風景100選」にも選ばれている。

雨天時は翌10日に延期。参加申し込みなど問い合わせは振興会事務局（☎072・994・5741）。